

# THE JUMBLE

創TSUKURU

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

グラップリングの女王

木乃舞椛

ある試合で左足に大怪我を負い

2年間、格闘技界から姿を消していた

そして4人のミゼットレスラーと

出会い新たな活動残し場を得た

更にある人物と出会う…

# 目次

新たなスタート

---

1



# 新たなスタート

アタイは木乃舞椛

2年前、SBが主催する

格闘技の大会にM M Aルール

で出場した

相手はSBの選手で

女子世界アトム級チャンピオン

高岡 美希

とても勢いがあつて

人気のある選手だった

だけど彼女にとって

初めての総合の試合

試合は5分3R

1R目は様子を見ながら

の攻防だった

案の定、高岡美希は

打撃で勝負に出ていた

アタイは彼女の打撃をさばき

ながら寝技にもちこみ体力を

奪っていった：

2 R目はアタイは勝負に出た

ロープ際まで引き込み

三角絞めを極めた時：

気づけばアタイはリング下で

左足の激痛にもがいていた：

試合はノーコンテスト

後味の悪い終わり方だった：

アタイはすぐに救急車に運ばれ

左足の手術を行った

復帰は難しいと医師から

言われてアタイは途方に暮れた：

多分攻防の際にバランスを崩し

リング下に落ちたんだと思う

その時、高岡美希は

各団体やマスコミに叩かれていた

くSB高岡美希 木乃舞椀を

リング下に突き落とす!!? く

アタイは格闘技雑誌を見て

呆然とした：

「なにコレ…間違ってる…」

アタイは各団体やマスコミに

この記事は間違っていると伝えただけ

この話題が拡散するまで

時間がかからなかった：

高岡美希は自らの責任をとり

ベルトを返上しSB界から

姿を消した：

そして2年が経った

アタイは故郷に戻り

リハビリをしながら

コンビニでアルバイトを

している

たまに高校でお世話になった

柔道の道場で汗をかいている

まだ…引退はしていない…

また試合がしたいから…

「ありがとうございます」

また宜しくですっ」

「木乃舞さんっもっ」と

笑顔で爽やかにお願いします！」

「だったらもっとき給上げて

くださいな！つてことで時間なんで

あがりまっす！」

ハゲ店長を1人店に残し

アタイは速やかに退散した

帰り際、祭囃子が聞こえてきた



「あつ今日から祭りだったねえ」

アタイは久しぶりに地元の祭りを  
見に行つた

すると大きい小屋から

賑やかな声が聞こえて

アタイはその小屋に近づくと

大きい看板に

見世物プロレス

「へえ〜面白そう！アタイも見てこよ

エへへ…」

中に入ると歓声と笑い声が

響き渡っていた

リングは手作りでいびつだけど

4人のミゼットレスラー達は

思いきりフアイトしていた

1人女子のミゼット選手がいた

日本人形のような髪型で

ボロボロの着物のような

コスチュームを着て

ラフファイトをしている

他の3人のミゼットレスラー達は

怪獣のような着ぐるみを着ていた

「何かいいなあ…めちやくちや

だけどアハハ」

すると選手のプロフが載ってる

紙をもらった

「アハハ面白い名前！」

女子ミゼットレスラー

阿修羅姫

必殺技 上からグシャ（ブルドッキングヘッドロック）

凶獣 ガバラ

必殺技 プラツシーのように（噛みつき）

触手怪獣 ムチドン

必殺技 お仕置き（両手のムチで叩きまくる）

岩石獣 ヘッドバーン

必殺技 誰かの手を借りてのダイビングヘッド

レフェリー

本谷 一志

見世物プロレスの親方

「オイ！ガバラ！反則だぞー！

1・2・3……！」

阿修羅姫がハリセンを手にして

レフェリーの本谷のケツを

ぶっ叩く！

そしてムチドンがヘッドバーン

を担ぎ本谷の顔面目掛けて

ヘッドバーンの石頭を炸裂

させた！

鼻血を出しもんどり打って

倒れた本谷……

その時突然、叫びながら

180 cmくらいの黒人女子レスラー  
が乱入してきた…!!?

権はあまりのデカさに

空いた口がふさがらない

黒人女子レスラー

ザ・グレートトリッパー

180 cm 97 kg

WWPA世界ヘビー級チャンピオン

「オーマエラ、ザーケンナヨ!!?」

コレイジョープロレスヲオチヨクンナヨ

コーノターコスケドモ!!?」

トチ狂ったグレートトリッパーは

ミゼットレスラー達に襲いかかった!

「プロレスヲオーシエテアゲマース!!?」

すると、あの巨体のグレートトリッパーが

思いきり倒れた:

なんと権が後ろから片足タックルで

倒したのだ

「早くリング下に逃げて！」

君達じゃ敵わない」

「オマエ！ダーレヨ？！」

「その辺のコンビニ店員だよ」

梶は素早く足を首に巻き付け

三角絞めを極めた！

その光景を見た本谷は

「あの娘はまさか…」

グラップリングの女王 木乃舞梶」

隣にいた阿修羅は

「木乃舞梶？」

「ああそうだ、あのブラジリアン柔術

の選手でさえ彼女とやりたがらないくらい

だ…」

するとグレートリッパーは

梶の三角絞めで絞め落とされた！

権は左足を心配しながら

「うんっ大丈夫、いける！」

会場内は歓声と拍手に

包み込まれた

木乃舞権、新たな格闘ロードが始まる！

「